

会 議 録

会議の名称	第1回上尾市立大石南中学校再編検討協議会	
開催日時	令和8年7月30日（木）午後3時から午後5時	
開催場所	大石南中学校 図書室	
議長(委員長・会長)氏名	会長 長嶋 佐央里	
出席者(委員)氏名	藤波 美幸、高橋 かおり、岡田 慎太郎、大塚 雄介、石川 友子、 白水 翔太、佐藤 智栄、久保田 裕里花、長谷川 晃、川崎 美幸、 中川 萌、鈴木 茂、松本 礼介、横山 法子、長嶋 佐央里、秋山 誠、 大木 まみこ、山田 史子、三日月 桂子	
欠席者(委員)氏名	上村 友佳、酒井 憲司、根本 純江	
事務局	西倉教育長、池田教育総務部長、武田学校教育部長、山内教育総務 部次長、中澤学校教育部次長、 学務課 吉羽主幹、指導課 遠藤副主幹 新しい学校づくり推進室 深井室長、矢部主査、矢野主任、前平主 任	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	(1) 上尾市学校施設更新計画について ① 上尾市学校施設更新計画基本計画 ② 上尾市学校施設更新計画実施計画 ③ 上尾市立大石南中学校再編検討協議会 (2) その他	別紙「議事の経過」のとおり
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 4名
会議資料	別紙のとおり	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和8年9月28日 議長(委員長・会長)の署名 <u>長嶋 佐央里</u> 議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)		

議 事 の 経 過

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
会長	それでは、本日の資料及び議題について、事務局より説明をお願いいたします。 議題 (1) 上尾市学校施設更新計画について ① 上尾市学校施設更新計画基本計画
事務局	〔事務局より会議資料に基づき説明〕
会長	ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。
A 委員	〈主な質疑・意見〉 冒頭に出てくる 12 学級以上 18 学級以下という基準は、国が法令で標準とする学校規模に基づいて、上尾市の方で考えたものということですが、この数字の絶対性はどこまでなのでしょう。絶対にキープしたいものなのでしょうか。それによって、少し考え方が変わってくると思います。
事務局	上尾市では 12 から 18 学級を望ましい学校規模としており、そこを目指したいと考えているところです。絶対性というところになりますと、基本的には、そこを目指すというのが上尾市の基本姿勢、基本的な考え方でございます。
A 委員	ということは、そこまでいかないけども、ギリギリ近いところまで行けば良しとすることもあり得るということですか。
事務局	必ずしもこの再編をすることによって、12 学級に届くか届かないかというのは、児童の入れ替わりや社会的な上下もございますので、結果を見てからでないとわからないのかなと思うところもございます。
A 委員	もう一点よろしいでしょうか。資料の中で「地域の実情を勘案しながら」と記載がありますが、地域の実情とは具体的にどのようなことを想定されているのでしょうか。
事務局	学校の配置についてが、一番大きなところかなと思いますので、通学距離や児童生徒の居住地がどのような形になっているのか、それによって可能など不可能なところあるかなと思いますので、地域の実情というのは基本的には物理的な部分を含めたことを皆さんからお話をいただきながら勘案する部分かなと思います。
会長	その他何かございますか。
B 委員	先程見た動画の感想でもよろしいですか。

	小規模校の学級数が少ないことによるデメリットということで、クラス替えができないこととありましたが、自分の経験からすると、私の中学校は2クラスしかなかったのですが、当時の先生が強引にクラス替えをしないという方針を出されて、私達の学年だけ3年間ずっと同じクラスでした。結果としては、このクラスが一番よかったです。担任だった先生は今でもそれをおっしゃっていました。 仕組みとして学校を作るというよりも、よく言われるのは子供たちにとって最大の環境は先生方とされていますが、子供たち自身も環境に応じて最適な方向を目指すものだと思いますので、必ずしもクラス替えができないというのは、デメリットではないのではないかと、いくらでもメリットに変えていけるのではないかなと思いました。 あともう一点ですが、話が違ってしまうと申し訳ないですが、この再編によって図書館の機能や公民館の機能を地域に開放するような話がありましたけど、非常に素晴らしいなと思いました。これは再編する以前から、今からでも取り組めるなら始めてもらいたい方向性だなと感じたところでございます。
会長	ありがとうございます。その他何かございますか。
C委員	メリットデメリットのところですが、うちの子たちは小さい学校で少ない学級で育って、学級数が1個ずつしかなかったです。逆に多い学校のメリットデメリットを教えていただきたいです。
事務局	学級数が12から18学級ある学校につきましては、先ほどありましたクラス替えができるというのは1つのメリットになるかと思います。クラスが安定していて問題がない学年、学級が継続できれば良いですが、児童生徒の中には色々な子もいると思うので、そういった子供たちとの関係がどうしても悪くなってしまったようなことがあった際には、物理的に少し離せるような距離感を取れるようなことが、クラス替えができるというのはかなりメリットになるかなと思います。
C委員	何か問題が起きたときに、小規模のところよりかは解決が早いということですか。
事務局	しっかりと話し合いをして解決する必要はもちろんあるかと思いますが、その瞬間瞬間にどうしても合わない事もあると思います。そういったものを解消するには、最初に少しでも距離を置いてあげた方が、熱が冷めるというか、関係性も見直せるのではないかと他のお子様のことを聞いてみても感じているところでございます。 また、集団活動の中での合唱祭や体育祭などは、一定規模の児童生徒がいることによって、それぞれの学年同士の関わりがより広くなり、みんなで協力するという気持ちやクラス同士で切磋琢磨するという気持ちが芽生えるため、学級が複数ある方が学校としてはより充実した活動ができると伺っているというところでございます。
A委員	クラス替えができるということが一番に挙げるべきではないと思います。集団活動がよりやりやすくなるとか、教員の配置が増えるので細かな教育ができるようになるとか、そういうところを先に挙げるべきだと思います。

	ます。クラス替えができないから困るというのは、確かにそうなんですけど。
会長	その他何かございますか。
D 委員	最後の方に、公民館や図書館にも学びの場所が広がるというお話がありました。義務教育年代にとって学校はシェルターのような立地だと思っています。公民館は生涯学習の場ですので、不特定多数の人がやってきます。大人と小中学生と一緒に学べることはすごく魅力的なお話ですが、極端な事を言ってしまうと性犯罪や誘拐などのリスクも高くなると思うので、その辺の安全性をしっかりと考えて地域に学びの場を広げていただきたいと思います。
会長	ありがとうございます。その他何かございますか。
E 委員	施設の複合化に関してですが、大石南中学校を検討していく際にどの辺りの施設との複合化を検討していて、視野に入れているのでしょうか。具体的な施設名が分かれば教えていただきたいです。近隣の畔吉集会所という話は別の会議で話が出たことがありましたが、具体的にどの施設を検討の視野に入れたらいいのかをお聞きしたいです。
事務局	施設の複合化につきましては、今ある近隣施設がまず挙げられるかと思いますが、全ての学校で複合化できるというわけでもないと考えております。ですので、大石南中学校につきましては、現在何かと複合化するという考え方はない状態です。しかし、他の施設の耐用年数や施設の別の状況によって、今後庁内で大石南中学校にこの施設を持っていきたいというような議論が生じた場合には、複合化していくという形になるかと思えます。この計画は、市全域でできるだけ複合化するという方向性を持った計画にしようという大枠のものでありますので、具体的なものについて、大石南中学校については今現在ございません。
会長	他に何かございますか。
F 委員	地域の実情ということですが、この地域は調整区域になっていて、どうしても新しく家が建てられない地域ですので、やむを得ない部分もあるのではないのかなというのを情報として入れていただきたいなと思います。よろしくお願いいたします。
会長	他に何かございますか。
G 委員	先ほど12学級から18学級以下というのが上尾市の方針として決まったということでしたが、なぜそう決まったのでしょうか。
事務局	12学級から18学級につきましては、この計画を作るにあたって、保護者や教員に対してアンケートを行いました。その中で子供たちの学びに望ましい学校規模はどのくらいかを聞いております。その中で一番多かった回答は18学級、1学年3クラスがある状態でした。 また、文科省で出しております学校教育法施行規則の中で小学校の学級

	数は12学級以上18学級以下を標準とするとございます。中学校につきましても同様の数字を文科省の方がうたっております。ただそれが絶対的ではなくて、地域の実態その他により特別の事情があるときにはその限りではないともされています。 その他にも学校施設の整備に関する負担金、補助金のようなものですが、その中でも、学級数が12学級から18学級の学校を標準、適正な学校規模の条件という形でうたっておりますので、そういったところから12から18学級という数字を上尾市としても採用しているというところがございます。
会長	ほかに何かございますか。ないようであれば、続きまして、実施計画について説明をお願いします。
	② 上尾市学校施設更新計画実施計画
事務局	〔事務局より会議資料に基づき説明〕
会長	ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。
B委員	〈主な質疑・意見〉 まず、方向性1で新しい時代の学びにふさわしい学校づくりとか、小中一貫教育の推進というようなことが書かれていますが、上尾市は小学校が22校、中学校が11校ですので、物理的に考えると、小学校の2校に1校が小中一貫教育を行っているということなののでしょうか。その辺はどういうふうに整理をされているのでしょうか。私自身は小中一貫教育がいいのかどうかは全くわからないのですが、半分の子供しか対象にならないことについてはどうお考えなののでしょうか。 それから、実施計画に学校ごとのスケジュールが記載されていますが、これを見ると、ある学校は2027年に個別設計、2028年には工事着工と記載されていますが、設計工事がこんなスピードで進めるのを基本にしていることにびっくりしました。プールが来年から使われなくなるとお聞きしましたが、こういう計画に紐づいてプールの使用も中止になっているのでしょうか。実施計画の中のこういった工事の計画と大石南中の再編協議はどういう関係になっているのか教えていただきたいです。
事務局	説明が足らず申し訳ございません。実施計画の7ページ以降に各学校の建て替え等の実施行程表を掲載しておりまして、例示としてお示ししているものになります。
B委員	例示であって、これが目標というわけではないということですね。
事務局	小中一貫教育については、担当課の指導課よりご説明させていただきます。
事務局	小中一貫教育を簡単にわかりやすく申し上げますと、小中学校で理念を共有して子供たちを育てていこうというものになります。小学校1年生から中学校3年生までの9年間で、どういった児童生徒に育てていきたいか

	という理念をしっかりと共有して、9年間を見通して、子供たちを育てていきたいと思いますというものです。学校がもちろん近ければ、例えばいろんな取り組みをしたときに共有しやすいというのものもあるかもしれませんが、あくまで立地のことではなくて、その中学校区でこういった子供を育てていきたいかという理念をしっかりと共有して、9年間で育てていきたいと思いますというものです。施設を一緒にするということではなくて、理念を共有していくものでございます。
会長	その他何かご意見等ございますか。
E 委員	現在、上尾市では学校運営協議会、コミュニティスクールをやっていると思いますが、学校運営協議会とこの学校再編検討協議会の関わり方というのは、どのような関係性になっているのでしょうか。
事務局	学校運営協議会は、例えば大石南中学校であれば、大石南中学校をどのような学校にしたら良いのだろうかというのを、地域の皆さんと一緒に考えていく組織です。再編検討協議会というのは、大石南中学校の学校再編について、今後どのようにこの学校の再編について考えていけばいいのかということにスポットを当てた会議体です。その違いがございます。以上です。
E 委員	方向性1のところで、「学校施設更新を行う際には、学校運営協議会や～」という言葉が書かれていますが、この再編検討協議会で出た意見を学校運営協議会でも共有するということですか。
事務局	方向性1につきましては、「学校施設の更新を行う際には、学校運営協議会や児童生徒、教員の意見を踏まえながら検討する」と考えておりまして、施設の建て替えをするにあたっては、学校運営協議会や生徒、教員の意見を聞きながら、施設の配置や、新しく建った時の間取りなどを検討するということをうたわせていただいております。
E 委員	間取りや教室のレイアウト、例えば施設の複合化をする場合どうするのかなど、そういうものを検討するのは学校運営協議会ということですか。
事務局	学校運営協議会へは意見を伺うという形です。 実施計画では、3つの方向性を示させていただいておりますが、建て替えが必要な学校のための方針であったり、今回のような再編のための方針であったりと、市全体の方針を複合的に示しておりますので、学校運営協議会や再編検討協議会ということが記載されており、少し誤解を生むような形になってしまったのかもしれませんが。 学校が老朽化して建て替える場合の方向性としては、学校運営協議会へ意見聴取を行いながら進めていくというものです。今回の再編検討協議会ですと、方向性2の「子供たちの学びに望ましい学校規模の維持」が主となりますので、今回の再編検討協議会は皆様にご意見をいただく機会ということでございます。
会長	その他何かございますか。よろしいでしょうか。 ないようであれば、続きまして、大石南中学校再編検討協議会について

	説明をお願いします。
	③ 上尾市立大石南中学校再編検討協議会
事務局	〔事務局より会議資料に基づき説明〕
会長	ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。
A 委員	〈主な質疑・意見〉 大石南中学校の現状の教員配置は、基礎定数が 10、加配定数が 3 ということですので、合計 13 名が県で雇っている先生という解釈でよろしいですか。教員の中に市費の先生はいないということですよ。市で費用を払って教員を雇うとことを検討しても良いのですか。県からは 13 人しか配置できないけれども、上尾市で独自で給料払って先生を雇うというようなことも具体的に考えても構わないのですか。
事務局	市費で教員を雇うということは、制度上は可能です。制度上は可能ですが、財政状況であるとか、様々な勘案をしたときに、まず財政的な圧迫がかなりあるということ。2 つ目として、現在教職員が非常に足りない状況があります。そういう状況の中で、市で雇うというのは現実的には困難であると考えています。
A 委員	そういう考え方が示されるとよく分かりますけど。雇えと言っているわけではないです。
会長	では、その他何かございますか。
E 委員	6 学級の基礎定数のみの配置例がありますが、実際に教科担任が週 22 時間受け持つ例はあるのでしょうか。非常勤とかはつくかなとは思いますが。標準は 18 時間となっていますよね。
事務局	こちらは仮に 6 学級で加配定数につかない場合の例となります。現状は加配がある状態ですので、現状の教員配置のところでお示ししたとおりとなります。
E 委員	加配がつかなかったら、週 22 時間の授業を教員がやるってことですか、本当に。
事務局	そうになってしまうので、それがないように今はどうにかしてこのような状態を作っているという話です。
E 委員	実際あるのですか。起こり得る話でしょうか可能性として。
事務局	この先、教員の配置が困難になれば、どうしてもせざるを得ないという形にはなってしまうとことはあり得るかと思えます。
会長	その他、何かございますか。

H委員	一応スケジュール案が示されていますが、もしできれば最後まで の予定、なにやるのかがわかると、全体的に今後どういう流れでいくのかが 分かるので、次回でも良いので、詳細なスケジュールがあるとありがたいで す。
事務局	今具体的なスケジュール内容はまだ定まっていないのが実情でござい まして、ただ回数としましては、今年度は4回、来年度は想定では5回程 度を予定したいと考えているところです。各論協議の進捗によって先々の 予定が決まりますけれども、全9回のうち最後の2回程度についてはでき ればまとめに入るような進め方にできればと考えているところでござい ます。
H委員	第何回と決まっていなくても、大体、来年度はこういうメニューでやっ ていくという感じで、協議の内容は大体決まってるのですか。
事務局	そちらについては、今は決まっていない状況でございまして、皆様から いただいたご意見をもとに、例えば再編の方法として人を集めてくる方法 というのはどういうものがあるのだろうかというところを、皆様から意見 をいただいた上で、次回についてはそれを検討しましょうという形を取っ て、前回の平方北小学校再編検討協議会は進めておりました。ただそれを 何回も何十回もやるわけにもいかないなので、ある程度まとめる方向を作り ながら、皆さんと協議して全9回の中で、できれば方向性を見つけたいと いうところでございます。先の検討の内容が分かりにくくて申し訳ござい ません。
B委員	教員配置の関係なのですが、18学級の教員配置になると、楽になると いうことですが、教員1人当たりの受け持ち授業時数というのは目安みた いなものはあるのでしょうか。例えば週に15から20時間というのが1 点です。 また、現状の大石南中の受け持ち時間数を見ると、それらの半分という か、1人当たりの授業数が少ないことになっていると思います。例えば、 複数教科の資格を持っている先生については、社会と数学を受け持つとい うようなやりくりは可能なかどうかというのが2つ目です。 3つ目が、適正規模の最大基準である18学級の教員配置が例として出 されましたが、適正規模の最低基準である12学級になったらこれだけ楽 になります、中間の15学級ではこうですと出していただければ良いです が、例示が最大学級ではイメージも付きにくいのかなと思います。
I委員	本校の現状についてですが、これだけではなくて道徳、学活、総合、プ ラス特別支援学級の方に出るものや、ステップアップルームの方に入るも の、TT（ティーム・ティーチング）など受け持ちの教科以外にも授業に 入っています。本校の平均は大体20時間で、どの教諭も週20時間程度 にするようにしております。
A委員	わからない用語がいっぱい出てきたので質問します。通学区域審議会と は何ですか。どういうメンバー構成なののでしょうか。
事務局	通学区域審議会というのは、学校の通学区域が変更等になった場合にど

	のエリアまでをその学区にするか、そもそも選考が必要かということを検討するような会議体でございます。1つの学校に通学するエリアを見直す場合には、教育委員会の諮問を受けて協議を行い、諮問に対する答申を行っています。委員については、市議会議員の方を始め、自治会長や小中学校の校長先生、学校運営協議会の方々を主な構成員としています。
会長	その他何か質問ございますか。よろしいでしょうか。
会長	(2) その他 事務局からの説明はこれで終わりですが、その他にここでお話ししておきたいことなど何かございましたらご発言をお願いいたします。
J 委員	〈主な質疑・意見〉 私は、平方北小学校の再編検討協議会に参加しておりました。本日の説明も何度か聞いたことがありました。平方北小学校再編検討協議会で、小規模校のメリットデメリットのお話もありましたが、その中で授業内だけではなくて教員の配置というところで、委員として参加されていた先生が、修学旅行の話をされていて、1人しか学年に担任の先生がいなかったりすると、下見やスケジュールの調整、しおりの作成、生徒に説明することなど全部1人でやらなくてはいけなくて、そこが結構厳しいですとおっしゃっていました。大石南中学校でも同じようなことが起こっているのではないのかなと思ったのですが、先生いかがでしょうか。
I 委員	本校は、2学級を学年職員4人で見ているという形になります。 学年主任、担任2人、副担任でやっております。加配を入れていただき、4人でやっているの少しはいいのかなと思います。 元から人数が少ないので、職員のおやすみなどがあると大変なことはあります。もっと人員は欲しいというのは実際ではありますが、加配を付けてくださっているので一応まわせているところです。
J 委員	平方北小学校も少人数ですが学校単位で見るとすごくいい学校で、先生が児童一人一人の名前を呼んでくれたりして、いいかなと思っていたのですが、やはり上尾市全体で見ると、駅前の富士見小の人数がすごく多かったりと駅前に生徒数が集中しているので、再編をしていかなければいけないという限界が来るのかなと思います。その限界が来る前に、今話し合っているのかなと思っています。平方北小学校再編検討協議会の際は自分が通っていた学校であり、今現在子供も通っているの、個人的な意見を出してしまったのですが、やはり上尾市全体で考えていかなきゃいけないかなと思っています。例えば、大石南中学校が魅力的な学校になっていけば、密集している地域からも生徒が来たり、市全体の生徒数が分散されて良いのではないかなと思っています。私自身もこの中学校に少し通っており、子供たちが通うことも考えると、そのまま残ってくれたらいいなとは思いますが、建物も古くなっていることもあるので、少し厳しいのかなと思います。
会長	今後、各論協議に入りましたら、学校の実務の部分なども教えていただければと思います。 その他何かございますか。他にご意見なければ、その他、事務局から何

	かございますか。
事務局	今後の予定でございますが、先ほどの年間スケジュールでご説明させていただいたとおり、次回は10月初旬を予定しております。日程が決まり次第、ご連絡させていただきます。
会長	以上で議事を終了させていただき、進行を事務局にお返しいたします。
事務局	長嶋会長ありがとうございました。本日、予定していた令和8年度第1回上尾市立大石南中学校再編検討協議会を終了しますので、閉会のあいさつを秋山副会長よりお願いします。
副会長	活発なご意見ありがとうございました。今後この協議会がますますいろんな面で様々な情報を得ながら進展していくものと思っております。では以上をもちまして、令和8年度第1回上尾市立大石南中学校再編検討協議会を終了いたします。ありがとうございました。 以上